

コーパスに基づく VR (動詞+結果) 他動詞構文の認知言語学的分析

——“V 紅”を一例として——

秋 山 淳

目次

0. はじめに
 - 0.1. VR 他動詞構文のタイプ
 - 0.2. コーパスについて
1. 形容詞“紅”について
 - 1.1. 形容詞“紅”の意味
 - 1.2. 形容詞“紅”の述語用法の例
2. “V + 紅”他動詞構文
 - 2.1. “V + 紅 [赤い]”
 - 2.2. 使役義に解釈される“V + 紅”他動詞構文
 - 2.3. 非使役義に解釈される“V + 紅”他動詞構文
 - 2.4. V の違いが“V + 紅”他動詞構文の解釈を決定?
3. 使役義、非使役義何れの解釈もある“V + 紅”他動詞構文
 - 3.1. 使役義に解釈される“漲紅”他動詞構文
 - 3.2. 非使役義に解釈される“漲紅”他動詞構文
 - 3.3. 使役義に解釈される“羞紅”他動詞構文
 - 3.4. 非使役義に解釈される“羞紅”他動詞構文
 - 3.5. 使役義に解釈される“染紅”他動詞構文
 - 3.6. 非使役義に解釈される“染紅”他動詞構文
 - 3.7. “V + 紅 [赤い]”他動詞構文の主語、目的語
4. “V + 紅 [成功している / 革命的である]”他動詞構文
 - 4.1. “煉紅”他動詞構文
 - 4.2. “捧紅”他動詞構文
 - 4.3. “唱紅”他動詞構文
 - 4.4. “V + 紅 [成功している / 革命的である]”他動詞構文の主語、目的語
 - 4.5. その他の“V + 紅 [赤い / 成功している / 革命的である]”他動詞構文
5. イディオム (メタファー)
 - 5.1. 看紅了眼
 - 5.2. 杀紅了眼
6. “V + 紅”他動詞構文の構文義
 - 6.1. V + R
 - 6.2. フレーム意味論 (百科事典的知識) と主語、目的語
7. おわりに

0. はじめに

0.1. VR 他動詞構文のタイプ

中国語の結果複合動詞 (VR) を用いた他動詞構文のタイプは主に以下の三つのタイプがある。¹⁾

(1) a. 武松打死老虎。

「武松が虎を殴り殺す」

b. 张三打累了狗。

「張三が犬を殴って疲れた」

c. 我已经看完了《红楼梦》。

「私は『紅樓夢』を読み終えた」

使役義を「X (主語) の行為が Y (目的語) の状態を変化させる」と定義すると、上記の例では (1a) は使役義、(1b) は非使役義、(1c) は非使役義 (アスペクト) を表す。

上例は VR がそれぞれ異なっているが、VR の組み合わせが同じ他動詞構文にもかかわらず、使役義に解釈されるものや非使役義に解釈されるものがある (秋山 2018b, 2018c)

(2) a. 你老兄不解风情，点破这个心照不宣的秘密，生意就尴尬了。”朋友随后透露了一个客户的故事：一位精明的男士一番比较后，预定了 2997 朵假玫瑰，要求我们节日前后连续 3 天分别以 999 朵送给他在某大学任教的女友。他的爱情生意经念得很到位：自从台湾歌手邰正宵唱红了“九百九十九朵玫瑰”后，京城的示爱求婚者从既隆重又经济的角度考虑，一般选择馈赠 99 朵为宜。情人节期间每枝纯正的中品红玫瑰热卖价约在 15 元左右，买 99 朵不够打折，一次送花就需花掉 1485 元。(人民日报海外版 2003 年 02 月 14 日)²⁾

「邰正宵は『九百九十九朵玫瑰』を (歌って) ヒットさせた後…」 (使役義)

b. 让风还巢更方便 (子夜走笔)- 张文 农民工就业一直牵动着整个社会的神经。去年一首《新娘歌》唱红了网络：“新郎打工去城市，留下新娘守空床。新娘新娘在家忙，家里家外挑大梁。”歌曲结尾唱道“只愿平安早回转，夫妻一起奔小康”。(人民日报 2011 年 02 月 14 日)

「『新娘歌』がインターネット上でヒットした」 (非使役義)

(2a, b) のように使役義と非使役義の解釈が可能な“V 红”他動詞構文は“唱红”だけなのか。本稿はこのような問題意識を手がかりに、“V 红”他動詞構文の意味解釈を決定するものは何なのかを考察するものである。

0.2. コーパスについて

本稿が用いたコーパス是北京語言大学が web 上に無料で公開している BCC 語料庫及び中国の検索サイトである百度である。

1. 形容詞“红”について

先ず“V + 红”他動詞構文を分析するにあたり、R にあたる形容詞“红”についてみていくことにする。

1.1. 形容詞“红”の意味

『中日辞典』(第 3 番) 講談社によれば“红”の形容詞用法には次の意味がある。³⁾

(3) a. 赤い

b. めでたい

c. 成功している、売れている

d. 革命的である。

次に用例を確認する。

1.2. 形容詞“紅”の述語用法の用例

- (4) “不，不，不，不要害怕。你今天可以转去了，我放你回去，家中的款子不必送来了！”“转去吗？”少年的眼圈红了。(沈从文 / 在另一个国度里)
- (5) 十九年的生活舒适饱暖，门坎的外边是另一个世界。他不肯哭，可是泪不由的落下来。他瘫软在那里。虎爷也红了眼圈，一把扯住天赐，连拉连扯的走了出去。(老舍 / 牛天赐传)
- (6) 亚拉冈说：“自从黄金宫殿建成以来，确实经过了很长的一段时间。”“在我们的幽暗密林中，枫叶红了五百次，”勒苟拉斯说：“这在我们的眼中看来，不过是刹那间瞬。”(托尔金 / 魔戒全集(指环王1、2、3))
- (7) 周杰伦红了这么多年，为什么大家这么喜欢他？⁴⁾
- (8) Ta 在脱贫一线 | 余雄富：红了高粱酒，富了小康生活⁵⁾

(4) ~ (6) は「赤い」という意味の用例、(7) と (8) は「売れている」という意味の用例である。(5) は他動詞用法の用例であり、“红了”の後の名詞“眼圈”は主語である“他”の身体の一部であり、主語“他”と目的語“眼圈”の関係は全体と部分の関係である。(7) は自動詞用法であるが、(8) は“余雄富”が“高粱酒”の人気を出させたという使役他動詞用法である。(8) のような使役他動詞としての用例は非常に少ない。

次節では“V + 紅”他動詞構文を具体的に考察する。

2. “V + 紅”他動詞構文

先ず BCC で抽出した“V + 紅”を確認する。

2.1. “V + 紅 [赤い]”

BCC に現れる“V + 紅”の組み合わせは以下のとおりである。

- (9) 染 [染める] 紅 (560)、映 [映える] 紅 (484)、漲紅 [膨張する] (379)、羞 [恥ずかしがる] 紅 (94)、煉 [精錬する] 紅 (81)、熬 [煮詰める] 紅 (71)、烧 [燃やす] 紅 (70)、照 [照らす] 紅 (69)、急 [焦る] 紅 (36)、唱 [歌う] 紅 (35)、哭 [泣く] 紅 (29)、气 [怒る] 紅 (25)、捧 [捧げるように持つ] 紅 (17)、憋 [抑える] 紅 (16)、胀 [膨れる] 紅 (15)、打 [打つ] 紅 (14)、晒 [干す] 紅 (12)、拚 [必死に振り切る] 紅 (12)、燃 [燃やす] 紅 (11)、笑 [笑う] 紅 (10)、涂 [塗る] 紅 (8)、輸 [液体・気体などを輸送する] 紅 (8)、溅 [(液体が) 跳ね上がる] 紅 (6)、冻 [凍る] 紅 (5)、烤 [焼く] 紅 (5)、浸 [浸す] 紅 (5)、吹 [吹く] 紅 (5)、拍 [軽くたたく] 紅 (4)、臊 [恥ずかしい] 紅 (4)、看 [見る] 紅 (4)、抹 [塗る] 紅 (4)、干 [する] 紅 (4)、烫 [熱くする] 紅 (3)、熏 [いぶす] 紅 (3)、醉 [酔う] 紅 (3)、窘 [困る] 紅 (3)、磨 [こする] 紅 (2)、演 [演じる] 紅 (2)、带 [携帯する] 紅 (2)、刺 [突き刺す] 紅 (2)、流 [流れる] 紅 (2)、啼 [声を出して泣く] 紅 (2)、抢 [奪う] 紅 (2)、砸 [(重いもので) 打つ] 紅 (2)、叫 [叫ぶ] 紅 (2)、渗 [しみる] 紅 (2)、斗 [闘う] 紅 (2)、吵 [騒がしくする] 紅 (2)、吃 [食べる] 紅 (1)、盼 [見る] 紅 (1)、煨 [とろ火で煮込む] 紅 (1)、弄 [する] 紅 (1)、飘 [翻る] 紅 (1)、酡 [酒を飲んで顔が赤くなる] 紅 (1)、涸 [にじむ] 紅 (1)、揉 [もむ] 紅 (1)、扩 [広げる] 紅 (1)、扇 [あおぐ] 紅 (1)、蹙 [くじく] 紅 (1)、吻 [接吻する] 紅 (1)、浇 [液体を注ぐ] 紅 (1)、照耀 [照らす] 紅 (1)、争 [争う] 紅 (1)、搓 [両手でもむ] 紅 (1)、育 [育てる] 紅 (1)、赚 [儲かる] 紅 (1)、舔 [なめる] 紅 (1)、捶 [こぶしなどでたたく] 紅 (1)、濡 [濡らす] 紅 (1)、惊 [驚く] 紅 (1)、震 [震わす] 紅 (1)、开紅

[開く] (1)、瞪 [目を見張る] 紅 (1)、怒 [怒る] 紅 (1)、睜 [目を見張る] 紅 (1)、拔 [抜く] 紅 (1)、沾 [濡れる] 紅 (1)、撒 [放す] 紅 (1)、饑 [ほしがる] 紅 (1)、漆 [塗る] 紅 (1)、滴 [滴を垂らす] 紅 (1)、拉 [引く] 紅 (1)⁶⁾

次節では具体例を見ていくことにする。

2.2. 使役義に解釈される“V + 紅” 他動詞構文

まずは使役義に解釈される“V + 紅” 他動詞構文を見ていくことにする。

(10) a. “浸紅”

b. 李向群仿佛没听见似的，扛起沙包就走。此时的他并不知道，无情的病魔正向自己袭来，只是凭着意志和毅力坚持着。一包、两包……一步、两步……10分钟、20分钟……就在大娘回家续水的时候，李向群一头扎在大堤上，吐出的鲜血浸红了头下的泥土，手里还攥着肩上滑下的沙袋……留在人间最后的姿势，仿佛一尊血肉雕塑。“你把心血和精力用到了极限 / 你把刚烈和忠诚用到了极限 / 你把青春和热血用到了极限 / 由此，完成了一个士兵最后的冲刺……”（人民日报 1999 年 02 月 24 日）
「吐き出した鮮血が頭下の土にしみて赤くした」

c. 她们在漆黑的夜色里，冒着雨，赶往阵地前的指挥部。天刚亮时，不料被敌人发现，开枪向她们射击，四位妇女干部当场牺牲了两位，另两个也受了重伤。她俩忍住重伤的疼痛，硬是一截一截地往前爬，足足爬了五六里，终于将军鞋送到前沿指挥部。尔后，四位巾帼送军鞋的事迹在平北成为美谈。烈士的鲜血浸红了枫叶，肥沃了春草，浇灌了平北广袤的大地……（人民日报 1996 年 12 月 1 日）

「烈士の鮮血がしみて楓を赤くした」

(11) a. “吹紅”

b. 我想从今以后，她在枯燥乏味的生活中，恐怕难以离开这种暂歇了。5月18日晴朗明媚的日子又来了，我又能和热特律德一道出去，这种机会不久之前才有可能（因为前一阵又下了大雪，几天前道路还难以通行），而且很久以来，我们也没有单独在一起了。我们脚步挺快；冷风吹红了她的面颊，不断把她的缕缕金发吹到脸上。我们沿着泥炭沼的边缘走去，我顺手折了几根开花的灯芯草，插进她的软帽下，和她头发一起编成辫子，就不会吹落下来了。（纪德 / 田园交响曲）

「冷風が吹いて彼女の頬を赤くした」

c. 宋莉唱得情意绵绵，她明明是什么也不曾忘掉，可面对天业时，她却又口口声声说要把“啥啥都忘了”，歌喉百转表现了人物的柔情蜜意，对天业“没一句暖心窝的话”则表现了人物埋藏在心底更深的情与爱，从而把一个女人淌血的内心展现在观众面前。演员的表演是深刻强烈的，同时又是深沉含蓄的，因此产生了震撼人心的力量。春风可以吹绿了山，吹红了花，吹熟了果，然而人们心灵上的创伤的平复却要艰难得多，《山里人家》为我们展现的正是改革春风吹进大山后，山里人勃发向上，战山斗穷的精神风貌和思想品格。（人民日报 1992 年 01 月 09 日）

(12) a. “刺紅”

b. 一连几天夜里，都是等九姑娘睡熟以后，她才动手缝，一盏孤灯，一根针线，一边缝，一边想着长秀，想着自己，想着现在，想着未来。有多少回，无边的遐想被她自己有意地涂上一点美丽的颜色，有多少回，泪水模糊了眼睛，针尖刺红了手指。这千针万线真真织进了她的辛酸，织进了她的幻想，织进了她的眼泪。她朦胧地意识到：她的命运，她往后的生活再也和小长秀的命运和生活分不开！（周克芹 / 许茂和他的女儿们）

「針先が指に刺さって赤くなった」

c. 他怀着这颗无限忠诚于祖国的心，继续苦练，一直练到两肘出现一层好几个铜钱厚的茧子，练得枪在他手里像一根木棍那样轻巧灵便，举上个把小时面不改色。接着，他又经常选择阳光最强和雨雾迷蒙的时刻，瞄电线杆上的小鸟、远处的树叶和墙角下最小的靶子。太阳刺红了眼睛，汗水浸透了

衣领，大雨淋透了全身，他照样练。技术不负苦心人，他终于在基本射击中练出了硬功夫。入伍半年，十次射击，十次优秀。(人民日报 1962 年 02 月 03 日)

「太陽が眼を刺激して赤くした」

“浸红”他動詞構文の(10b)は主語“吐出的鲜血”が原因主(causer)に、目的語“头下的泥土”が受動者(patient)であり、全体は使役義に解釈される。(10c)は主語“烈士的鲜血”が原因主に、目的語“枫叶”が受動者であり、全体は使役義に解釈される。“吹红”他動詞構文の(11b)は主語“冷风”が原因主に、目的語“她的面颊”が受動者であり、全体は使役義に解釈される。(11c)は主語“春风”が原因主に、目的語“花”が受動者であり、全体は使役義に解釈される。“刺红”他動詞構文の(12b)は主語“针尖”が原因主に、目的語“手指”が受動者であり、全体は使役義に解釈される。(12c)は主語“太阳”が原因主に、目的語“眼睛”が受動者であり、全体は使役義に解釈される。

一方、非使役義にしか解釈されない“V + 红”他動詞構文も存在する。

2.3. 非使役義に解釈される“V + 红”他動詞構文

次の“V + 红”他動詞構文は非使役義に解釈される。

(13) a. “胀红”

b. 大家都挤在顾冈的房门口，看他挥笔。月香也走过来，踮着脚站在人背后张望着，一只手臂围在金有嫂脖子上。然后她说：“哎，金有嫂，你家里放着个先生，要是书再念不好，难为情的呵！”她把金有嫂一推，笑着跑了。金有嫂胀红了脸，很窘地笑着，因为从来没有谁和她说笑话。月香跑了，顾冈也微笑着抬起头来看看。有时候她倒也很活泼大方，他心里想。有一天他散步回来，看见她洗了衣他晾在大树上。(张爱玲 / 秧歌)

「金有嫂は顔を赤く膨らませた」

c. 其他和他同姓的人就不一定了。我希望山姆很乖，没有惹事吧？”“乖得很，棒极了，詹吉先生，”佛罗多说：“事实上，不知道你相不相信，但他是全世界最有名的人了！从海边到大河流域，他们都替他写歌，歌颂他的丰功伟业。”山姆胀红了脸，但他感激地看着佛罗多，因为小玫的眼中发着光，正冲着他笑。“我可真难相信哪！”老爹说：“但我看得出来他这次交了一些怪朋友。他的铁背心哪里来的？不管看起来好不好看，我可穿不习惯这种铁衣服。”(托尔金 / 魔戒全集(指环王 1、2、3))

「サムは顔を赤く膨らませた」

(14) a. “听红”

b. 王队长去把书记县长见，房里空空不见人一双。快步出村到地里，见他二人正同社员劳动扯家常。王队长一见脸发烫：书记县长比我强，他们抽空还劳动，我不劳动实在不应当！抽身回家去把锄头取，慌里慌张来到地边上。社员们一见开玩笑：是啥风吹来我们的“忙队长”！王队长一听红了脸，低着头儿答不上腔。……这一天他同书记县长同劳动，一面劳动一面把话讲。(人民日报 1963 年 06 月 13 日)

「王隊長は聞くと顔を赤らめ…」

c. 团支部一年大讲几次“教育者首先受教育”的道理，发现问题及时帮助解决。尹文良讲批评和自我批评讲得很好。一次，一个小青年对他说：“你当记工员，不到地里去记工，光听别人说，记得不合理。”他一听红了脸，说：“你怎么知道我是听别人说的，我不当记工员了，你来当。”小青年说：“你常讲要天天洗脸，我就给你洗这一回，你都红了脸，要是天天洗，你还不知该怎么样哩！”团支部发现后，对他进行了帮助。(人民日报 1965 年 08 月 29 日)

「彼は聞くと顔を赤らめ…」

(15) a. “憋红”

b. 鹿兆鹏更加难堪，语言也支吾起来：“我怕你产生误会，以为这是我有意的……安排……”白灵却进

一步追问：“即使你事先知道，即使是你有意安排，又怎么样呢？”鹿兆鹏猛然转过头说：“那样的话，我说太卑鄙！”白灵不动声色地问：“谁会这样说你呢？谁又了解这真真假假呢？”鹿兆鹏憋红了脸说：“兆海。”白灵朗声笑了：“你想证明你是个君子啊！其实卑鄙每个人或多或少都有一点儿。有一点卑鄙也可以原谅，只是不要太多。”鹿兆鹏被噎得说不上话来：“你这是……”（陈忠实/白鹿原）

「鹿兆鹏は息をつめて顔を赤らめて…」

- c. 老冯又打来电话，半命令半央求地让他去下棋。老冯照例让端午先洗手，可他自己呢？时不时抠弄一下嘴里的假牙，丝丝拉拉地拖出一些明晃晃的黏液，弄得棋子湿乎乎的。每次端午要提掉他的黑子，都得皱起眉头，压住心头的阵阵嫌恶。下到中盘，黑白两条大龙在中腹绞杀在一处。老冯憋红了脸，一连算了好几遍，还是亏一气。最后，只得推枰认输。“那么，您呢？您是不是也在与时俱进，变成了一个‘新人’？”端午笑着对他道。“我是一个怪物。”（格非/江南三部曲）

「馮さんは息をつめて顔を赤らめ…」

“胀红”他動詞構文の(13b)は主語“金有嫂”が経験者(experiencer)に、目的語“脸”が対象(theme)であり、主語と目的語は全体と部分の関係となり、非使役義に解釈される。(13c)は主語“山姆”が経験者に、目的語“脸”が対象であり、主語と目的語は全体と部分の関係となり、非使役義に解釈される。(14)の“听红”他動詞構文の(14b)は主語“王队长”が経験者に、目的語“脸”が対象であり、主語と目的語は全体と部分の関係となり、非使役義に解釈される。(14c)は主語“他”が経験者に、目的語“脸”が対象であり、主語と目的語は全体と部分の関係となり、非使役義に解釈される。(15)の“憋红”他動詞構文の(15b)は主語“鹿兆鹏”が経験者に、目的語“脸”が対象であり、主語と目的語は全体と部分の関係となり、非使役義に解釈される。(15c)は主語“老冯”が経験者に、目的語“脸”が対象であり、主語と目的語は全体と部分の関係となり、非使役義に解釈される。

2.4. Vの違いが“V+红”他動詞構文の解釈を決定？

前節の用例をまとめると、(10)“浸红”、(11)“吹红”、(12)“刺红”の他動詞構文は使役義に解釈され、(13)“胀红”、(14)“听红”、(15)“憋红”の他動詞構文は非使役義に解釈されている。これらの例から、“V+红”他動詞構文の解釈を決定するのは、Vの違いによると予測される。ところが、コーパスを調べていくと、使役義と非使役義の両方の解釈を用例に持つ“V+红”他動詞構文も存在する。次節では、これらの用例を見ていく。

3. 使役義、非使役義何れの解釈もある“V+红”他動詞構文

ここでは、使役義、非使役義の何れの用例も持つ“V+红”他動詞構文を見ていく。

3.1. 使役義に解釈される“涨红”他動詞構文

先ず次の例を見てみよう。

- (16) a. 冷清清的路上，腊月的清晨里，带着欢乐的疲倦，伴着百名宫女，皇后归来了，青莲花拿在手里，深红的纱丽穿在身上。法庭里审判的宝座上端坐着大地之主。无家可归的人一队队走来，恐惧地在他的脚前匍匐，抖战着结结巴巴地诉说他们的痛苦。国王把头低下……羞愤涨红了面颊。他离开法庭，来到后宫，质问皇后说：“这算干甚么！烧毁穷苦百姓的房屋，说吧！是依据谁的律法？”（泰戈尔/泰戈尔诗选）

「羞恥と憤怒が頬を赤く膨らませた」

- b. 露丝知道两个表姐妹都是聪明人后来露丝的担心却有了道理。马丁跟考德威尔教授在一个显眼的角落里交谈起来。对露丝那挑剔的眼光说来，虽然马丁没有在空中挥舞手臂，却仍然太容易激动，眼

睛太频繁地閃出光芒，谈话也太快太热烈，太容易紧张，也太频繁地容许激动的血液涨红了面颊。他缺乏彬彬有礼的风度和涵养，跟和他谈话的年青英文教授形成了鲜明的对比。但是马丁对外表却满不在乎²他很快就注意到了对方那训练有素的心智，欣赏起他的渊博。（杰克·伦敦 / 马丁·伊登）

「興奮した血液が頬を赤く膨らませた」

(16a) の“涨红”他動詞構文は主語の“羞愤”が原因主 (causer)、目的語“面颊”が受動者 (patient) であり、使役義に解釈される。(16b) は主語の“激动的血液”が原因主、目的語“面颊”が受動者であり、使役義に解釈される。次に、非使役義に解釈される“涨红”他動詞構文を見ていく。

3.2. 非使役義に解釈される“涨红”他動詞構文

非使役義の用例を見てみよう。

(17) a. “你们俩不大吃一惊才怪呢！”“你总不至于装扮个小丑吧，嗯？”迈克西姆闷闷不乐地说。“不会挖空心思拚命想逗人发笑吧？”“放心吧，不会的，”我神气十足地说。“我还是希望你装扮成漫游仙境的爱丽丝，”他说。“从您的发型来看，倒可以扮个圣女贞德，”弗兰克腼腆地说。“我可从来没想过，”我不以为然地说。弗兰克涨红了脸。“任凭您怎么装束打扮，我相信我们都会喜欢的，”他用那种典型的弗兰克式的夸张口气说。“别再助长她的气焰，弗兰克，”迈克西姆说。（达夫妮·杜穆里埃 / 蝴蝶梦）

「フランクは顔を赤く膨らませた」

b. 另外，他还发觉，自从十二月以来，施米茨病了，每天上午都不营业，晚上很早就关门；所以我们才增加了收入，不是因为你的缘故。”接着，她告诉弗兰克说，德国人把店铺盘出去了，两个挪威人的店今天开张了。弗兰克涨红了脸。“我知道施米茨病了，有时候他关门。可是，这不是你们的买卖好转的原因。是我卖力干，才使买卖一点点好起来。我敢打赌，即使街角上来了两个挪威人，或者三个希腊人，我一定能保持现在的营业。不光是这样，我敢说还能增加一点。”（伯纳德·马拉默德 / 伙计）

「フランクは顔を赤く膨らませた」

(17a, b) は主語“弗兰克”が経験者 (experiencer)、目的語“脸”は対象 (theme) である。この主語と目的語は全体と部分の関係であり、何れも非使役義に解釈される。

3.3. 使役義に解釈される“羞红”他動詞構文

次の例を見てみよう。

(18) a. 然后他又看到，小伙子戴着电子手表的左手肆无忌惮地从女人的衬衫开气里伸了进去，摸着那两个扁平的乳房。一种被时代淘汰了的怅惘，像蚕吃桑叶一样，啃着他的心。他几乎是第一次想到：天哪，我已经四十二岁了。我好像还没来得及长大，就变成了一个中年人。年轻人们的亲昵举动，羞红了他这个旁观者的脸，他把头扭过去了。不饶人的年龄给他的灰黯心情又涂抹上了一层悲凉的色彩。他的思绪像飞奔的车轮一样旋转：在这个人世上，我已经活了四十二年，可这四十二年里，我都干了些什么呢？（莫言 / 丰乳肥臀）

「若者の人懐こい振舞いが傍観者である彼の顔を恥ずかしさで赤くした」

b. 这是俺闺女的血！你弄出来的俺闺女的血！俺闺女可是个货真价实的黄花闺女！你要是敢把她玩玩扔掉，我就拎着这条床单去找你们的领导！”……她在床上的表现令我胆战心惊……她一把揭开被单，凶恶地说：“来吧！”她的嘴里喊出的淫荡话语羞红了我的脸，……从这一时刻起，我就嗅到了她身上、头发上、连牙缝里都渗出的殡仪馆里的死人气味门外响起金属的咔嚓声，他以为是幻觉。猛地被推开的铁门夹住了他的头他以为是幻觉。（莫言 / 十三步）

「彼女が発するみだらな言葉に私の顔は恥ずかしさで赤くなった」

(18a) の“羞红”他動詞構文は主語の“年轻人们的亲昵举动”が原因主 (causer)、目的語“他这个旁观者的脸”が受動者 (patient) であり、使役義に解釈される。(18b) は主語の“她的嘴里喊出的淫荡话语”が原因主、目的語“我的脸”が受動者であり、使役義に解釈される。次に、非使役義に解釈される“羞红”他動詞構文を見ていく。

3.4. 非使役義に解釈される“羞红”他動詞構文

非使役義に解釈される“羞红”を見てみよう。

(19) a. 这样一说，你的心头会自然地掠过一个年轻女子的身影吧。我从没搬来的时候，就已经动了这样的好奇心。不知是这种邪念预先就破坏了我的自然，还是我不善交际，我头一次遇见这位小姐时慌慌张张地打了一个招呼。她也羞红了双颊。以前，我是从孀妇的风度和神态来推想这位小姐的一切的。然而，我的想象对她来说并不是很有利的。既然军人的妻子是这样，那么她的女儿也一定如此。(夏目漱石 / 心)

「彼女も恥ずかしさで両頬を赤くした」

b. “初枝多次说起过小姐您，所以我也不觉得是初枝与小姐见面。”“是怎么说的，关于我的……”阿岛有一肚子话想说，目不转睛地望着礼子说：“说小姐是不是浑身闪闪发光……让小姐您抚摸，便痛快得全身发颤。她让我和小姐您也见见面，好好地谈谈，看看小姐到底是个什么样的人。”“不敢当。”礼子羞红了双颊，避开阿岛热烈的目光。“不过，可以说初枝她是能看得很清楚的吧？比视力正常的人看得更加清楚吧。”“因为她只想看自己喜欢的东西嘛。”(川端康成 / 少女开眼)

「礼子は恥ずかしさで両頬を赤くした」

(19a) は主語“她”が経験者 (experiencer)、目的語“双颊”は対象 (theme) である。(19 b) も主語“礼子”が経験者、目的語“双颊”は対象である。この主語と目的語はどちらも全体と部分の関係であり、何れも非使役義に解釈される。

3.5. 使役義に解釈される“染红”他動詞構文

(20) a. 这时候，他觉出来，有人压在他身上。炮弹炸开，他身上的人还不动。他慢慢地从下面挪出上半身来。他和“孤胆大娘”脸对了脸。她的太阳穴上往外冒血。他的脸上并没显出痛苦，还是那么镇定，和祥，好象刚睡熟了似的闭着眼，说不定哪一会儿就会醒过来。他腿上的血染红了一片她的白裙，她头上的血滴在他的脸上。不久，英雄营长贺重耘在古松的下面，借着春月的清辉，向“孤胆大娘”致了敬礼。(老舍 / 无名高地有了名)

「彼の足の血が彼女の白いスカートを赤く染めた」

b. 没有经过充分的军事训练，因此不能抵挡罗马人的攻势；尤其是在克拉苏颁布了什一格杀令以后，罗马兵士的勇敢和大胆已经到达了拚命的程度。在角斗士军队的左翼，混乱和无秩序的情形愈来愈显著了，不久，角斗士军队的中央也开始动摇了。下马与敌人作战的阿尔托利克斯胸部和头部已经受了伤。他的头盔已经劈裂了，鲜血染红了他的脸，但他还是不肯放弃武器；但是，不管他多么英勇，他的军队还是继续向后退却，而且变得愈来愈混乱了。(拉法埃洛·乔万尼奥里 / 斯巴达克斯)

「鮮血が彼の顔を赤く染めた」

(20a) の“染红”他動詞構文は主語の“他腿上的血”が原因主 (causer)、目的語“一片她的白裙”が受動者 (patient) であり、使役義に解釈される。(20b) は主語の“鲜血”が原因主、目的語“他的脸”が受動者であり、使役義に解釈される。次に、非使役義に解釈される“染红”他動詞構文を見ていく。

3.6. 非使役義に解釈される“染红”他動詞構文

(21) a. 我不管的，我是要找你的！阿灿笑笑，说：你瞧瞧那窗外，天那么黑的了。庄之蝶扭头看去，窗外确漆黑如墨，遥远的地方，一颗星星在闪动着。他说：那星星是在终南山那边吧？回过头来。阿灿

脸上是一道血痕，她的手上拿着头上的发卡，发卡上染红了血。庄之蝶惊得就去看那伤痕，阿灿却抓了桌上一瓶墨水倒在手心，就势捂住了半个脸，那露着的半个脸却仍在笑着，说：伤口好了，或许冇疤，若是不留疤。这墨水就渗在里边再褪不掉的。（贾平凹 / 废都）

「ヘアピンが血で赤く染まった」

- b. 因为比西把这个宝藏留给他自己，他按照自己的方法对省内这个小角落进行掠夺，当地人起先还采取适当的进行抵抗，后来也就任其所欲为了。一天，安茹公爵在进行视察。而比西正从事掠夺之际，蒙梭罗先生骑着他的猎马，到达了昂热城口。当时大约是午后四点钟，要能在四时左右到达这里，他这一天必须赶了七十余公里的路。因此，他的马刺上已经染红了血；他的马口吐白沫，已经半死不活了。在城门口刁难新来者的时期已经过去了。（大仲马 / 蒙梭罗夫人）

「彼の拍車は既に血で赤く染まった」

(21a) は主語“发卡上”が場所(location)、目的語“血”が対象(theme)であり、存現文になっていると考えられる。したがって、使役義には解釈されない。(21b) は主語“他的马刺上”が場所であり、目的語“血”が対象であり、存現文になっていると考えられる。したがって、(21a) と同じく使役義には解釈されない。

3.7. “V + 红 [赤い]” 他動詞構文の主語、目的語

(16a,b)、(18a,b)、(20a,b) のように、“涨红”、“羞红”、“染红” 他動詞構文は、何れも主語が原因主、目的語が受動者の時には使役義に解釈される。一方、(17a,b)、(19a,b) のように、“涨红”、“羞红” 他動詞構文は主語と目的語が全体と部分の関係になっている時、(21a,b) のように、“染红” 他動詞構文は主語が赤く染まる場所、目的語が場所を赤く染めるモノの時、いわゆる存現文の時には使役義に解釈されない。このことから、“V + 红” 他動詞構文の解釈は V だけでなく、主語、目的語の指示内容も考慮しなければならないと思われる。

4. “V + 红 [成功している / 革命的である]” 他動詞構文

V の種類により“红”が「赤い」ではなく、「成功している」、「革命的である」という意味に解釈されたり、同一の“V + 红”の“红”が目的語の違いで「赤い」のほかに「成功している」、「革命的である」という意味に解釈されるものもある。それが構文全体の解釈へ影響しているかどうかを確認していく。

4.1. “炼红” 他動詞構文

- (22) a. 家喻户晓的烈火中英雄穆哈默德·希胡、米尔代扎·凯皮，风暴中的旗帜亚当·雷卡，十五岁的女共产党员什库黛·瓦塔，而要讲讲我们会见过的英雄人物。米尔·代沙，就是前面提到过的石油城老焊工——社会主义劳动英雄。说他“老”，其实他还不过三十八岁。但是，从一九五〇年当焊工起，艰苦的岁月，炼红了他的心，炼壮了他的手，也催白了他的额头。这个时期，国家要建设钢铁、水电、石油等一系列现代化大型工业企业。（人民日报 1975 年 01 月 27 日）

「苦難に満ちた年月が私の心を（鍛えて）革命的にした」

- b. 贫下中农看在眼里，记在心上，一致推选他担任了幼儿园的老师。在他的精心培育下，今年从幼儿园进小学的二十五名儿童，都能背诵“老三篇”和几十条毛主席语录，家长们说：“吉棱炼红了孩子们的心，真是毛泽东思想的红色宣传员。”要用实际行动向毛主席表忠心为祖国社会主义建设贡献力量在党的八届扩大的十二中全会公报发表的第三天，少数民族居住的边远山区——四川峨边县和平公社牛河子生产队的彝族社员，载歌载舞，开了庆祝会。（人民日报 1968 年 12 月 26 日）

「吉棱は子供たちの心を鍛えて革命的にした」

(22a) は主語“艰苦的岁月”が原因主、目的語“他的心”が受動者であり、使役義に解釈される。(22b) は主語“吉棱”が動作主（原因主）、目的語“孩子们的心”が受動者であり、使役義に解釈される。コーパ

スを調べていくと、目的語は必ず“心”、“思想”であり、“炼红”の“红”は必ず「革命的である」という意味であり、他動詞構文は使役義に解釈されるもののみである。

4.2. “炼红”他動詞構文

- (23) a. 因为“走穴”，在一夜之间能成为“暴发户”，所以一个个趋之若鹜，把艺术当作摇钱树，的确风光了好长时间。然而如今时过境迁了，明星“走穴”终于有所降温。我说这是一种进步，值得高兴。它表明我们的观众正在走向成熟。他们不再像前些年那样去“追星”、“捧星”，不再一听说明星就脸热心跳了。过去是热心的观众们捧红了明星，而一些明星们却缺少必要的“艺德”，动辄索要高价、偷税漏税、违约罢演及生活丑闻不断等等，使观众们大失所望。(人民日报海外版 2003 年 03 月 28 日)

「熱心な観衆たちはスターを持ち上げて人気者にした」

- b. 陈玉珊说。此外，她强调培训和帮助新人演员的重要性。“资深演员可以拍一条就很厉害，根本不用换镜头就很有张力。新人没有那么厉害。我们有些拍法是适合新人的，有时候你需要用镜头帮新演员说故事，这是经验”。比如，她就用这样的方法捧红了明道、阮经天等。谈到从台湾转战大陆，如何与大陆年轻人的思想接触，陈玉珊笑称自己在办公室看大陆的卫视，流行文化已经同步，比如《中国好声音》。(人民日报海外版 2013 年 10 月 09 日)

「彼女はこのような方法で明道、阮经天らを持ち上げて人気者にした」

(23a) は主語“热心的观众们”が原因主、目的語“明星”が受動者であり、使役義に解釈される。(23b) は主語“她”が動作主(原因主)、目的語“明道、阮经天等”が受動者であり、使役義に解釈される。コーパスを調べていくと、目的語は必ず「人気がある」「成功している」という意味に解釈される人物などであり、他動詞構文は使役義に解釈されるもののみである。

4.3. “唱红”他動詞構文⁷⁾

- (24) a. 说到雷佳，观众大概都会想起当代中国歌剧的几部名作，她主演的《木兰诗篇》先后在日本、俄罗斯成功上演，还在国家大剧院主演过《运河谣》《再别康桥》。主演歌剧，对歌唱演员而言，是综合素质考验的，而民族歌剧，更是一个难得的大舞台。雷佳已经唱红了不少歌曲，闻名全国，可她却更钟情于歌剧。“歌剧对我最有吸引力，只有歌剧才能显示一个演员各方面的素质。”(人民日报 2016 年 01 月 14 日)

「雷佳は多くの曲を(歌って)ヒットさせた」

- b. 第三大件是茶叶。每次下部队，杨洪基带上自己喜欢的茶叶，演出后，杨洪基就和同事、部队官兵一起喝茶聊天，在聊天中畅谈演出体会，共叙官兵友情，倾听官兵需求。官兵这样评价他：杨洪基给我们送来了欢乐，也给我们送来了友情。金钱名利，足以考验一个艺术家的人品艺德。杨洪基懂得，一个演员赢得掌声容易，赢得人心不容易。为了钱和名去演唱，人就一钱不值了。杨洪基唱红了《三国演义》主题曲之后，邀请他参加商业演出的人慕名而来。(人民日报 2012 年 09 月 14 日)

「楊洪基は『三国演义』の主題歌をヒットさせた後……」

(24a) は主語“雷佳”が動作主(原因主)、目的語“不少歌曲”が受動者であり、使役義に解釈される。(24b) は主語“杨洪基”が動作主(原因主)、目的語“《三国演义》主题曲”が受動者であり、使役義に解釈される。ところが、コーパスを調べていくと、他動詞構文でありながら、非使役義に解釈されるものも存在する。

- (25) a. 张黎认为，不论是写诗还是填词，都需要厚实的生活积累。他说：“我写的词能在千千万万人中流传，它们的诞生都是艰难的，朴实的大白话中蕴含着我的坎坷经历，是我人生体验的浓缩。每字斟句酌地写出一句来，都像是自己生出的孩子一样十分高兴，十分珍惜！”这几年，张黎的作品唱红了中国大地，获得的殊荣并不多。用他的话说，就是“有点荣誉也多是老百姓给的”。中国广播音像出版

社搞一个民意测验，95.4的听众喜欢张藜的歌词；(人民日报1992年07月11日)

「張藜の作品が全中国でヒットした」

- b. 刘文玉长诗《黑土壮歌》在京研讨 刘文玉是著名诗人和多产作家，在历经半个多世纪的文学生涯中，他创作出版了《柳笛集》、《乡土赞歌》等10多部诗集和《地下怒火》等10部大型歌剧。他创作的歌词《毛主席走遍祖国大地》、《迎宾曲》等曾唱红了大江南北，家喻户晓。进入21世纪后，他又满怀激情创作了长篇叙事诗《黑土壮歌》，由春风文艺出版社出版，最近他又以精益求精的精神10易其稿，将其奉献于诗坛。(人民日报海外版2004年04月12日)

「彼が創った歌詞『毛主席走遍祖国大地』、『迎宾曲』などが全国でヒットした」

(25a)の主語“張藜的作品”は対象(theme)に、目的語“中国大地”は場所(location)であり、場所目的語“中国大地”がヒットしたという使役義には解釈されない。(25b)の主語“他创作的歌词《毛主席走遍祖国大地》、《迎宾曲》等”は対象に、目的語“大江南北”は場所であり、場所目的語“大江南北”がヒットしたという使役義には解釈されない。また、百度には“紅”が「赤い」という意味の“唱紅”他動詞構文も存在する。

- (26) a. Cover 毛不易《消愁》、唱红了多少人的眼眶，听了就上瘾！⁸⁾

「毛不易の《消愁》のcoverが多くの人々の目縁を赤くした」

- b. 薛之谦唱起《绅士》，他唱红了脖子，也唱进了我们的心！⁹⁾

「彼(薛之謙)は(歌って)首を赤くし…」

(26a)の主語“Cover 毛不易《消愁》”は動作主(原因主)であり、目的語“多少人的眼眶”は受動者で、使役義に解釈される。(26b)の主語“他”は経験者であり、目的語“脖子”は対象であり、主語と目的語は全体と部分の関係であり、非使役義に解釈される。

4.4. “V + 紅 [成功している / 革命的である]” 他動詞構文の主語、目的語

(22a,b)、(23a,b)、(24a,b)のように、“煉紅”、“捧紅”、“唱紅”他動詞構文は、何れも主語が原因主、目的語が受動者の時には使役義に解釈される。一方、(25a,b)のように、“唱紅”他動詞構文は対象を主語、場所を目的語にとるとき、使役義には解釈されない。また、“唱紅”他動詞構文は目的語が“脖子”や“眼眶”の時には、“紅”は「赤い」という意味に解釈され、(26b)のように主語と目的語が全体と部分の関係になっている時、使役義には解釈されない。(26a)のように主語と目的語が全体と部分の関係になっていない時には使役義に解釈される。

4.5. その他の“V + 紅” [赤い / 成功している / 革命的である] 他動詞構文

“唱紅”他動詞構文以外にも、コーパスを調べていくと、目的語によって、“紅”の意味が変わる“V + 紅”他動詞構文が存在する。

- (27) a. 这些故事就像一个个针孔，可以借此一窥他那密不透风的、难以理解的内心世界。但是，阿卜杜拉能从父亲脸上的表情看出，今晚不会有故事讲了。“很晚了。”父亲又说了一遍。他抓住披在肩膀上的围巾一角，拿起水壶，给自己倒了杯茶。他吹吹热气，喝了一小口，篝火映红了他的脸庞。“该睡觉了。明天路还很长。”阿卜杜拉拽起毯子，盖住自己和妹妹的头。在毯子下面，他对着帕丽的后脖梗哼起了歌：我瞅见伤心的小仙女，待在纸树影子下。(卡勒德·胡赛尼 / 群山回唱)

「かがり火が彼の顔を赤く染めた」

- b. 一批著名品牌的风味系列副食品订货量连年增加。辣椒加工业还带动了当地玻璃包装、油料等一批相关产业的发展。仅贵阳“老干妈”豆豉辣椒一个产品，每年就要消化5000多亩辣椒，6万多亩油菜和1万多亩黄豆，日用瓶量达到16万个，形成了一个崭新的“产业链”。小辣椒不仅映红了一方经济，也映红了一方人的心。“老干妈”公司现已发展成为有200余名职工的民营企业。陶华碧常说：“虽然我致了富，但不能忘记国家，忘记政府”。(人民日报海外版2000年11月07日)

「小唐辛子はその地域の経済を順調にしているのみならず、その地域の人々（の心）に希望を与えている」

(27a) は主語“篝火”が原因主、目的語“他的脸庞”が受動者であり、“紅”は「赤い」という意味になり、使役義に解釈される。(27b) は主語“小辣椒”は原因主、目的語“一方经济”、“一方人的心”が受動者であり、“紅”は「成功している、受けている」という意味になり、使役義に解釈される。

5. イディオム (メタファー)

これまでの“V+紅”他動詞構文は“紅”の意味にかかわらず、主語が原因主、目的語が受動者に解釈される場合、使役義に解釈され、主語が経験者、目的語が対象、または主語が対象、目的語が場所の場合には非使役義に解釈される。

この他、コーパスを調べていくと、ある特定のVが“紅”と結合し、特定の目的語を取るときに、新しい意味が生じているものがある。

5.1. “看红了眼”

(28) a. 铁路局丰台检车段一个女旋盘学习工毕兰香——记天津铁路局丰台检车段一个女旋盘学习工窦圻——今天不再是油线房的女工，毕兰香，光荣地争取到了机械场。自从来了共产党像阴天里露出了太阳，毕兰香积极带头干，被批准为女青年团员。“五一”加油干，“七一”多生产，男工友轰轰烈烈生产支前，毕兰香兴奋的看红了眼。女人不如男人能干？毕兰香决心要破除这个旧观念。伟大的信念得到了群众的称赞，毕兰香比小时过年还喜欢。(人民日报 1950 年 05 月 05 日)

「畢蘭香は興奮して妬ましくなってしまう」

b. 林彪也把他们自己看成是天生的“至贵”之人，当然的统治者，把我们广大工农群众看成和他们“有天壤之别”的下等人，理应受他们的统治。这实质上还是孔孟之道那一套反动的思想体系。我的亲身经历就是对孔子和林彪的这种反动思想的无情批判。旧社会，咱穷苦人好比苦瓜泡在苦水里，苦得不能提。我娘家在河南省长葛县，早先家里有六口人，三间房，几亩薄地。就这点穷家当，村里的地主还看红了眼，老打我家的主意。(人民日报 1974 年 02 月 02 日)

「村の地主はまだ妬ましくなってしまう」

“看红了眼”はイディオムとして「妬ましくなってしまう」という意味であり、(28a)の主語“毕兰香”、(28b)の主語“村里的地主”が動作主(原因主)、目的語“眼”が受動者の使役義解釈には解釈されない。もちろん、目的語が変われば、イディオムは成立しない。

(29) a. 那些年挂历上的美少女，多少人曾看红了脸?¹⁰⁾

「どれだけの人が(見て)顔を赤くしたのか」

b. 韩国顶级女团助力最强大脑，小姐姐们舞姿太性感了，我都看红了脸。¹¹⁾

「私は(見て)顔を赤らめた」

(29a)の主語“多少人”は経験者であり、目的語“脸”は対象である。主語と目的語は全体と部分の関係であり、非使役義に解釈される。(29b)の主語“我”は経験者であり、目的語“脸”は対象である。主語と目的語は全体と部分の関係であり、非使役義に解釈される。

5.2. “杀红了眼”

(30) a. 不过，我当时心想，要是让了一次步，那么就得一直让步到底。看来历史也证实了我的这种想法，今天他们不是都在争先恐后地杀人吗?! 他们都杀红了眼，而巨他们也只能这样做。”不过，不管怎么说，我所关心的并不是和别人进行争辩，而是那只红棕色的猫头鹰，是法庭上的那件肮脏勾当：一张张又脏又臭的嘴向一个锁上镣铐的人宣布他即将死去，并为他的死亡办理好一切手续，以便他

整夜整夜地处于垂死的恐怖之中，最后睁着眼睛，束手待毙。(阿尔贝·加缪 / 鼠疫)

「彼らは徹底的に打ちのめした」

- b. 他们领着马匹，安静地踩过冰冻的铺石路，然后把它们送进肃卢切区的屠宰场。在火车噪声的干扰下，卡利普无法一字一句听清楚老人如何形容屠杀的场面：马匹接二连三倒地，满脸茫然困惑，它们的肠子流淌在鲜血淋漓的石头地面上，内脏悬在体外，像是一把被开肠破肚的扶手椅中蹦出的弹簧。屠夫杀红了眼。剩下的马儿在后头等待轮到自己，它们露出忧伤的神情，恰似那些像罪犯一样偷溜出城的骑兵脸上的表情。斯克西车站前面也没有任何换乘车。(奥尔罕·帕慕克 / 黑书)

「屠殺者は徹底的に殺した」

“杀红了眼”はイディオムとして「徹底的に打ちのめす」という意味であり、(30a)の主語“他们”、(30b)の主語“屠夫”が動作主(原因主)、目的語“眼”が受動者の使役義解釈には解釈されない。もちろん、目的語が変われば、イディオムは成立しない。

- (31) 有些顾虑，有些微儿杀不下手。因为他的目标不是来杀这些人的。这些人还不配他动手。他要杀的只有一个人。只有这个人才值得他(和他的师兄弟)动手。可是，他若要杀此人，就难免失除掉这些保护这人的“障碍。所以他只好大开杀戒。当地杀了第一个“障碍”后，杀性便给激发，杀气激布。他杀红了眼，杀红了剑，也杀红了长街。——现在这一条街，绝对已不是“蓝衫街”，而是“红”：血染蓝街！他杀上了瘾，杀了一人又一人，把前仆后继保护那人的忠心子弟，一一歼杀。(天下有敌 / 温瑞安)

「彼は(殺して)剣を赤くし、長街を赤くした」

(31)の主語“他”は動作主(原因主)、目的語“剑”は受動者に、場所目的語“长街”は受動者の使役義に解釈される。

6. “V + 红” 他動詞構文の構文義

コーパスに基づくこれまでの考察を整理すると次のようにまとめられる。

- (32) a. 使役義の“V + 红 [赤い]”

i. 浸红 ii. 吹红 iii. 刺红 iv. 映红

- b. 非使役義の“V + 红 [赤い]”

i. 胀红 ii. 听红 iii. 憋红

- c. 使役義 / 非使役義 (全体 (主語) - 部分 (目的語)) の“V + 红 [赤い]”

i. 涨红 ii. 羞红 iii. 唱红

- d. 使役義 / 非使役義 (場所 (主語) - 对象 (目的語)) の“V + 红 [赤い]”

i. 染红

- (33) a. 使役義の“V + 红 [成功している / 革命的である]”

i. 炼红 ii. 捧红 iii. 映红

- b. 使役義 / 非使役義 (对象 (主語) - 場所 (目的語)) の“V + 红 [成功している / 革命的である]”

i. 唱红

- (34) イディオム (メタファー)

i. 看红了眼 ii. 杀红了眼

(32)、(33) から“V + 红”他動詞構文が使役義に解釈されるか、非使役義に解釈されるかはVでも、“红”でもなく、主語、目的語の意味内容も関係していることが予測される。そこで、“V + R (红)”、主語と目的語に分けて考察する。

6.1. V + R

拙稿秋山 (2018a, b, c) では、動詞 (V) + 結果 (R) は Tai (1985, 1993)、張麗麗 (2003) の類像性 (iconicity) の観点から、事象の発生順序に配列され、メタファーによって因果関係に拡張されると主張した。

(35) “擦 (V1) 干净 (V2/A)” → “擦 (V) 干净 (R)”

しかし、なぜ事象の発生順序に配列する必要があるのかは述べていない。これについてはこのように考える。

木村 (2014) によれば、中国語の無標の名詞、動詞、形容詞は何れも概念的な存在 (時間を持たない) であるという。したがって、「何らかの動作が何らかの状態を引き起こした」という変化を叙述する (時間領域に実体化させる) ためには、事象の派生順序通りに特定の動詞と動詞、または特定の動詞、形容詞を並べなければならないのである。したがって、“V + R” が叙述しているのは変化なのである。¹²⁾

6.2. フレーム意味論 (百科事典的知識) と主語、目的語

次に主語と目的語についてみていく。たとえば“吹红”は次のようである。

(35) (= (11b))

我想从今以后，她在枯燥乏味的生活中，恐怕难以离开这种暂歇了。5月18日晴朗明媚的日子又来了，我又能和热特律德一道出去，这种机会不久之前才有可能（因为前一阵又下了大雪，几天前道路还难以通行），而且很久以来，我们也没有单独在一起了。我们脚步挺快；冷风吹红了她的面颊，不断把她的缕缕金发吹到脸上。我们沿着泥炭沼的边缘走去，我顺手折了几根开花的灯芯草，插进她的软帽下，和她头发一起编成辫子，就不会吹落下来了。（纪德 / 田园交响曲）

「冷風が吹いて彼女の頬を赤くした」

動詞“吹”は“冷風”を参与者 (項) に取り非対格動詞、“红”は“她的面颊”を参与者 (項) に取り形容詞 (非対格動詞) であり、“冷風”が主語に、“她的面颊”が目的語に置かれ、「冷風が吹き (原因)、彼女の頬が赤くなった (結果)」と理解される (使役義)。

次に“涨红”についてみていく。

(36) (= (17a))

“你们俩不大吃一惊才怪呢！”“你总不至于装扮个小丑吧，嗯？”迈克西姆闷闷不乐地说。“不会挖空心思拚命想逗人发笑吧？”“放心吧，不会的。”我神气十足地说。“我还是希望你装扮成漫游仙境的爱丽丝，”他说。“从您的发型来看，倒可以扮个圣女贞德，”弗兰克腼腆地说。“我可从来没想到过，”我不以为然地说。弗兰克涨红了脸。“任您怎么装束打扮，我相信我们都会喜欢的，”他用那种典型的弗兰克式的夸张口气说。“别再助长她的气焰，弗兰克，”迈克西姆说。（达夫妮·杜穆里埃 / 蝴蝶梦）

「フランクは顔を赤く膨らませた」

(37) (= (16a))

冷清清的路上，腊月的清晨里，带着欢乐的疲倦，伴着百名宫女，皇后归来了，青莲花拿在手里，深红的纱丽穿在身上。法庭里审判的宝座上端坐着大地之主。无家可归的人一队队走来，恐惧地在他的脚前匍匐，颤抖着结结巴巴地诉说他们的痛苦。国王把头低下……羞愤涨红了面颊。他离开法庭，来到后宫，质问皇后说：“这算干甚么！烧毁穷苦百姓的房屋，说吧！是依据谁的律法？”（泰戈尔 / 泰戈尔诗选）

「羞恥と憤怒が頬を赤く膨らませた」

(36) と (37) の“涨”は「のぼせる」という意味の非対格動詞であり、“红”は形容詞 (非対格動詞) である。(36) は“弗兰克”「フランク」を主語に、“(弗兰克的) 脸”「(フランクの) 顔」を目的語に置いている。(37) は“羞愤”「羞恥と憤怒」を主語に、“(国王的) 面颊”「(国王の) 頬」を目的語に置いている。VR である“涨红”「(のぼせて) 赤くなる」が変化を叙述するなら、変化を被るのは、それぞれの目的語で

ある“脸”や“面颊”と解釈されるが、(36)の主語が“弗兰克”の時には、“脸”の変化を引き起こす原因主とは考えられないが、(37)の主語が“羞愤”の時には、“面颊”の変化を引き起こす原因主に考えられる。それを説明するためにフレーム意味論 (Fillmore 1982, 1985, Fillmore & Baker 2010, Goldberg 2010) という考え方をを用いる。フレームとは「ある概念を理解するのに必要となるような背景的知識構造」と定義されている (辻幸夫編 2013)。“涨红”事象では、「(のぼせて) 赤くなる場所」、「(のぼせて) 赤くなる原因」などのフレームが喚起される。この「(のぼせて) 赤くなる原因」は“涨”、“红”の何れの項ではないため、項構造の合成から説明するのは難しい。しかし、このフレームという考え方を導入することにより、背景知識を「(のぼせて) 赤くなる原因」として主語に導入することが可能になる。

また、認知文法の考え方では、事象の参与者 (ここではフレーム) の中で、一次的焦点 (最も際立つ) が主語になり、二次的焦点 (二番目に際立つ) が目的語になるため、(37) では「(のぼせて赤くなる原因)」である“羞愤”が主語となり、「(のぼせて) 赤くなる場所」「面颊」が目的語になり、母語話者は使役義に解釈する。一方、(36) は「(のぼせて) 赤くなる場所」「脸」が存在する場所 (所有者) “弗兰克”を一次的焦点として主語となり、「(のぼせて) 赤くなる場所」「脸」が二次的焦点として目的語となり、母語話者は使役義に解釈しないのである。

7. おわりに

“V + 红”他動詞構文を考察した結果をまとめると次のようになる。

- (38) a. 中国語の無標の動詞は概念的存在 (時間を持たない) であるために、特定の動詞と特定の動詞 / 形容詞を隣接させることで時間の流れを想起させ、変化を叙述する (井上 2012, 木村 2014)。
 b. “V + 红”他動詞構文の意味解釈は“V + 红”が表わす事象に現れるフレームの中で、一次的焦点を主語、二次的焦点を目的語とするが、“VR”他動詞構文は何が起こったのかという結果実現義を表すだけなので (Tai 1985, 1993, 2003, 沈陽・彭国珍 2010)、フレーム意味論という考えから百科事典的知識により、母語話者の捉え方が決定すると思われる。
 c. “看红了眼”、“杀红了眼”など、既にイディオムになっているものも存在する。

<注>

- 1) V は動詞、R は結果を表す。
- 2) ~~~ は主語、..... は目的語を示す。
- 3) pp.688-689
- 4) <https://baijiahao.baidu.com/s?id=1604241817426987233&wfr=spider&for=pc>
- 5) <https://zj.zjol.com.cn/news.html?id=1624046> “红”の使役他動詞用法は BCC では見つからなかった。Google で 4 例のみであった。(10 月 2 日最終確認)
- 6) カッコ内の数字は他動詞構文の数である。
- 7) 拙稿秋山 (2018b)、秋山 (2018c) も参照。
- 8) <https://www.bilibili.com/video/av882952155/>
- 9) <https://v.qq.com/x/page/s09087wdour.html>
- 10) https://www.cqcb.com/reading/2018-06-25/918576_pc.html
- 11) https://v.youku.com/v_show/id_XNDc1MjY3NTUxNg==.html
- 12) 井上 (2012) も中国語の動詞には時間の要素が内包されていないために、V1 と V2 を組み合わせて時間の流れを作る形で変化を叙述すると述べている。

<参考文献>

- 秋山淳 2018a. 「類像性と結果補語」『下関市立大学論集』第 61 巻第 3 号 pp.103-111
 秋山淳 2018b. 「コーパスに基づく中国語の NP1 + V + R + NP2 構文の認知言語学的分析—“唱红”—を一例として」『認

- 知言語学研究の広がり』pp1-17, 開拓社:東京
- 秋山淳 2018c. 「日本語と中国語の結果複合動詞について—認知言語学の観点から—」『銘傳日本語教育』第 21 期, pp17-46, 銘傳大學教育暨應用語文學院應用日語學系出版
- 井上優 2012 「テンスの有無と事象の叙述形式—日本語と中国語の対照研究」『日中理論言語學の新展望—②—意味と構文』影山太郎・沈力編 くろしお出版社 1-26
- 木村英樹 2012 『中国語文法の意味とカタチ—「虚」の意味の形態化と構造化に関する研究—』白帝社
- 木村英樹 2014 「“指称”の機能—概念、実体及び有標化の観点から—」『中国語学』第 261 号, 日本中国語学会, 64-83
- 辻幸夫編 2013 『新編 認知言語学キーワード事典』研究社
- 山梨正明 2009 『認知構文論—文法のゲシュタルト性』大修館書店
- 楊明 2013 『結果構式的認知語義研究—以中、日、英為例』知識産権出版社
- 沈家煊 2009 「我看汉语的词类」『语言科学』8.1-12.
- 沈陽・彭国珍 2010 「結果偏離義“VA了”結構的句法和語義分析」『漢語學習』5.3-10
- 張麗麗 2003 「動詞複合與象似性」『語言暨語言學』4.1.pp1-27
- Croft Williams and Cruse D. Alan 2004. Cognitive Linguistics. Cambridge.
- Fillmore Charles J. 1982 Frame Semantics. Linguistics in the morning calm Selected Papers from SICOL-19.1 HANSHIN Publishing Company, Seoul Korea 111-135
- Fillmore Charles J. 1985 Frames and the Semantics of Understanding Quaderidi Semantica vol.VI.no.2 222-254
- Fillmore Charles, Baker Collin 2010 A Frames Approach to Semantic Analysis. The Oxford Handbook of Linguistic Analysis 313-339
- Goldberg, A. 1995 Constructions, University of Chicago Press, Chicago. (河上誓作 / 早瀬尚子 / 谷口一美 / 掘田優子訳 2001 『構文文法』研究社)
- Goldberg, A. 2010 Verbs, Constructions, and Semantic Frames. Synta lexical semantics, and event Structure 39-58
- Langacker, Ronald W. 2008. Cognitive Grammar: A Basic Introduction Oxford
- Suzuki, Takeo. 2014. A Cross-Linguistic Exploration into the Semantics of English, Japanese and Mandarin Resultatives. Gendai Tosho.
- Tai, James. 1984 “Verbs and Times in Chinese: Vendler’s Four Categories,” *Papers from the Parasession on Lexical Semantics*, 289-96. Chicago Linguistic Society.
- Tai James H-Y. 1985 Temporal Sequence and Chinese Word Order Iconicity in Syntax: *Proceedings of a symposium on iconicity in syntax*, Stanford, Edited by John Haiman (1988. 戴浩一. “時間順序和漢語的語序”, 《國外語言學》第一期, 黃河(譯), 10-20)
- Tai, James H-Y. 1993 "Iconicity: Motivations in Chinese Grammar." *Principles and Prediction: The Analysis of Natural Language*, Mushira Eid and Gregory Iverson, eds., Amsterdam: John Benjamins Publishing Company, 153-174.
- Tai James H-Y. 2003 Cognitive Relativism: Resultative Construction in *Chinese Language and Linguistics* 4.2, 301-316
- Tai James H-Y. 2005 Conceptual Structure and Conceptualization in *Chinese Language and Linguistics* 6.4, 539-574

付記 本稿は 2021 年度第一回日本中国語学会九州支部例会の口頭発表を加筆修正したものである。発表に際し、貴重な意見をいただいた諸先生方、執筆に際し貴重なご意見をくださった本学の馬叢慧先生に感謝いたします。